

タウンニュース秦野版(2017年10月27日(金)号)にラディッシュの県央大会優勝の記事が掲載されました!

■秦野版 / No. 3355 2017年(平成29年) 10月27日(金)号

U12県央少年サッカー大会

39年ぶり大根SCが優勝

読売新聞社杯争奪県央少年サッカー大会が10月8日、15日に行われ、創立40年を迎えた大根サッカーク

ラブ(大根ラディッシュ、田山光春監督)が優勝した。大根SCが同大会で優勝するのは39年ぶり。



トロフィーを持つ大根SCのメンバー

同大会は

県央地区(相模原、大和座間、海老名、綾瀬、厚木、伊勢原、秦野)から100チーム以上がエントリー。各市内でリーグ戦による予選が行われ、大根SCは11試合全戦全勝で1位通過した。

本戦には各

勝ち抜いた32チームが出場。大根SCは、10人いる6年団員のうち2人が運動会で欠席したため、5年生から助っ人を連れての出場だった。「気合がみなぎっていた」という初戦。海老名FCを2-0で下し波に乗り、続く桜丘SCを4-0で撃破。3試合目となるパッセSC戦でも巧みなボール運びで得点を重ね、準決勝へ駒を進めた。

準決勝、決勝が行われた15日は朝から土砂降り。泥だらけになりながら重いボールを追いかけ、PKの末SFATを破り決勝進出を決めた。決勝は同大会では初の秦野対決。相手は好敵手の秦野FC。前半を両チ

ーム無得点で折り返すと、後半にキャプテンの栢澤琢太君が2点先取し、終了間際に1点返されるもののそのまま優勝を勝ち取った。選手たちは「勝つ気ではいたけど優勝できるとは思っていなかった。嬉しかった」と笑顔を見せた。

大根SCは1977年に

設立。大根小や鶴巻小などで週4日練習をしている。卒団を控えた6年生のほとんどはクラブチームに内定しているといい、同SCヘッドコーチの山口剛さんは「これからも努力を忘れず出会いに感謝して、謙虚な心でサッカー人生を歩んでほしい」とエールを送った。